

東京文化発信プロジェクト室

平成25年

東京アートポイント計画 POD通信

3月号

発行：東京アートポイント計画 〒130-0026 東京都墨田区両国 3-19-5 シュタム両国 5階 東京文化発信プロジェクト室

いよいよ3月に入り、暖かい日も増え、過ごしやすい季節となりました。春をのんびりと満喫したいところですが、今、オフィスでは、今年度事業の締めと、次年度事業に向けた仕込みに力を注ぐ日々が続行しています。プロジェクトの現場では、1年間の振り返りとともに、活動成果の詰まったさまざまな事業も展開されています。是非お運びください。

Pick Up

ぐるぐるヤ→ミ→プロジェクト「どーぞじんのいえ」 ウェブサイト <http://okatte.info/guruyami/dozjins-house>

ぐるぐるヤ→ミ→プロジェクトがお贈りする今年度最後の妄想企画「どーぞじんのいえ」が、3月3日と9日の2日間、上野桜木にある旧平櫛田中邸にて行われました。「どーぞ」が口癖の「どーぞじん」たちがお客様をおもてなしするホームパーティ形式のパフォーマンス。誰が「どーぞじん」なのか、誰がお客様なのか、はっきりとはわからないけれど、そんなことはおかまいなしに、なんだかちよつと不思議な人たちが集っている空間で、パフォーマーもお客様も思い思いに過ごします。

平成21年度※からスタートした本プロジェクトの参加アーティスト、ご協力いただいている地域の方々、これまでのプログラムを通して出会った参加者のみなさま、そして今回初参加の方々など、親しい友人から初対面の方まで、さまざまな人が、春の心地よい陽射しのもと、3時間あまりのひとときをひとつ屋根の下、ともに過ごすプログラムとなりました。

「どーぞじんのいえ」ウェブサイトでは、ポストパフォーマンス企画として、今後新たなコンテンツも更新予定。ぜひご確認ください。

※平成21年度は学生とアーティストによるアート交流プログラムとして実施。平成22年度より東京アートポイント計画事業として展開。

井尻 貴子

「アートプロジェクトってなんだと思いますか？」 TARL 講座「アートプロジェクトの 0123」最終回での講師：小川さんの問いかけ。受講中、きっとどこかでそのことを考え続けてきたであろう受講生の答えを聞くことができました。アートポイント計画の各事業も、その問いをあるときは体感し、あるときは体現していく1年間だったのではないかと思います。年度末、振り返り、先を見据え、これからのための句読点を打つ季節。もうすぐ、それぞれのドキュメントも完成します。また私事です、この3月末でアートポイント計画を卒業します。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

大内 伸輔

3月。全体的に絶賛 CAP(チェック～アクション～プラン)のシーズンです。平成24年度はいかがでしたか？ 目的の達成できたこと、できなかったことを振り返り、いつのまにか抜けてしまいがちな反省が抜けないように、しっかりと次年度の計画に仕込みます。アートプロジェクトの現場だけでなく、中間支援組織の我々も振り返りをしつつ、来年度の方針を固めつつあります。暖かくなった季節に体をほだしつつ、気持ちのよい新年度を迎えるため、もうひと踏ん張りです。

熊谷 薫

2月13日(水)、P+ARCHIVE 事業として「地域・社会と関わる芸術文化活動のアーカイブに関するグローバル・ネットワーキング・フォーラム」と題した国際シンポジウムが行われました。世界各国の事例を伺い、ひと口にアーカイブと言ってもさまざまな実践があることに驚き、あらためてモノではなくコトであるアートプロジェクトを記録しアーカイブ化することの意義を再認識しました。東京文化発信プロジェクト Room 302 (アーツ千代田 3331)では毎週水曜、木曜に、アートプロジェクトなどに関する資料の閲覧が可能です。どうぞご活用ください。

坂本 有理

としまアートステーション構想が、平成24年6月より毎月開催してきた「虫をつくるワークショップ」には、のべ700名近くの方にご参加いただきました。コスチューム・アーティストひびのこづえさんによって行われた本ワークショップでは、参加者それぞれが想像する「虫」のブローチを制作。3月10日(日)～24日(日)の期間中、それらの虫たちを披露する展覧会「みんなの虫あつまれ！」を開催します。会場はとしまアートステーション「Z」(雑司が谷)。特設サイトにて展覧会詳細情報および虫のブローチを紹介する「虫の図鑑」を公開中です！

佐藤 李青

今月、小金井アートフル・アクション！では、2つの成果発表の「場」を開きます。ひとつはトークセッション+展示「TALKING CAFE2013 アート×学校」。市内の学校とともに展開してきた小金井の活動を紹介し、「アートと学び」をテーマに多彩なゲストを迎えた議論の場を開きます。もうひとつが、展覧会「NEW COMER'S VIEW 2013」。地域に住む外国の人びとの文化を市民が取材し、制作した作品と、外国籍のアーティストによる作品の2つの「視点」で構成された展示です。どちらも年間を通して、丁寧に、関わる人々との関係性を紡いできた活動の成果です。

長尾 聡子

『墨田のまちとアートプロジェクト 墨東まち見世 2009-2012 ドキュメント』と題した、まち見世の4年間の活動を振り返るドキュメントを、先月末に入稿しました。これまでプロジェクトに携わった数多くの人の手と力が結集したものです。無事の完成を願う今日この頃です。1年間を振り返ると、PDCA サイクルのプロジェクトループが、季節感ともこれほど重なり合いながら回っていることを、あらためて、そしてどこか新鮮に実感した年でした。同時に、まち見世のように、複数年でのスパンの中でのプロジェクトの(季節)も肌で感じながら、一緒に歩き続け春を迎えたいと思います。

森 司 (東京アートポイント計画 ディレクター)

普段、通年での活動や地域密着型のプロジェクトを展開している「東京アートポイント計画」に関わっているアーティストが、3月23日(土)～24日(日)開催の《六本木アートナイト 2013》に集結します。4回目の開催となる今回は、アーティストックディレクターに日比野克彦氏が就任し、プログラムを統括。例年以上に広域的なまちなか展開を目指し、東京アートポイント計画のプロジェクトの現場でディレクターも務める小川希氏と清宮陵一氏もキュレーターとして企画に加わっています。アーティストが集う素敵な一夜として、各界の気鋭のプロフェッショナルがさまざまな場所で対談を繰り広げる「六本木夜楽会(ろくほんもくよらくえ)」など、多くのアーティストたちが参加します。詳細は、こちらでご確認ください。http://www.roppongiartnight.com

月間予定 3/10-4/10

- 3.10(sun) 【三宅島大学】 三宅島大学オープンキャンパス 開発好明(アーティスト)他 (三宅島大学本校舎[御蔵島会館]他)
- 3.23(sat) 【小金井アートフル・アクション！】 NEWCOMER'S VIEW 2013 岩井成昭(美術家)他
ニューカマーズ・ヴュー 2013 イミグレーション・ミュージアム・東京にむけて (小金井アートスポットシャトー2F)
- 3.10(sun)-24(sun) 【としまアートステーション構想】 ひびのこづえ 虫をつくるワークショップ 展覧会「みんなの虫あつまれ！」
(としまアートステーション「Z」)
- 3.14(thu)-17(sun) 【小金井アートフル・アクション！】 TALKING CAFE2013 アート×学校 ※3.15(fri)-17(sun) トークセッションあり
—2012年度小金井アートフル・アクション！の実践— (小金井市民交流センター マルチパーパススペース/市民ギャラリー)
- 3.16(sat) 【アートアクセスあだち 音まち千住の縁】 千住だじゃれ音楽祭 第一回定期演奏会「音まち千住の大団縁」
出演:野村誠(だじゃれ音楽監修、ピアノ)、松原勝也(ヴァイオリン)他 (東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール)
- 3.16(sat) 【小金井アートフル・アクション！】 NEWCOMER'S VIEW 2013
ペゴパヨパーティースペシャル ver.1 ゲスト料理人:ゴルマリヤム・マスウード・アンサリ (小金井アートスポットシャトー2F)
- 3.20(wed) 【小金井アートフル・アクション！】 NEWCOMER'S VIEW 2013
ペゴパヨパーティースペシャル ver.2 ゲスト料理人:ジェイミ・ハンフリーズ (小金井アートスポットシャトー2F)
- 東京文化発信プロジェクト事業
- 3.23(sat)-24(sun) 【六本木アートナイト 2013】 TRIP→今日が明日になるのを目撃せよ。 アーティストックディレクター:日比野克彦
(六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街他)
- 3.28(thu) 【墨東まち見世 2012】 墨東まち見世 2009-2012ドキュメントお披露目会 (墨東まち見世案内所)